

2026 年度「OGU リベラルアーツプログラム」科目の概要（春学期）

先生方からの一言動画を見る時の参考にしてください。

詳しくは 2026 年度春学期オリエンテーションの際に「WEB PATHOS」の「オリエンテーション」→「OGU リベラルアーツプログラム」リンクやシラバス等で確認してください。

科目名・担当者（曜日・講時）	科目の概要
人文芸術基礎探究 漢文学 野口 隆 先生（水・2）	漢文訓読を実践する。頼山陽の『日本外史』を講読する。毎回受講者全員に、講読の一部を担当してもらう。本文に句読点・返り点・送り仮名を付した資料を配付するので、それを書き下し文にして声に出して読み上げ、その上で現代語訳する。この時もっとも大切なのは、漢和辞典を引くことなので、毎回漢和辞典を持参すること。
人文芸術実践探究 生活美学 土井 茂桂子 先生（金・4）	生活美学（キャンパスの植栽が地域に及ぼす文化的価値）。本学の植栽が地域にもたらす効果（暮らしの質の向上と良質な環境提供）に着目し、身の回りへの‘まなざし’が魅力あるまちづくりの要となり、サステナブルな空間創造へとつながる工夫を PDCA サイクルを意識し考えていきます。
自然科学基礎探究 地球・地理情報 吉山 昭 先生（火・1）	地図・地理情報の活用により土地自然の条件を判読し、自然災害についても考察する。地球の表面の形状とそれに関連した人間の活動にまで踏み込んだテーマとなっています。従来の学問分野でいうと自然地理学に相当します。
自然科学実践探究 数学と生活 中西 朗 先生（木・2）	過去から現在のさまざまな事柄を数学を通して学び、社会における諸事象との関わりを探究し、これらの課題を考察する。
自然科学 PBL 学習 はじめての AI 活用術 白川 雄三 先生（火・3）	ChatGPT を使い、文章作成やビジネスメール、調べ学習（情報の確かめ方）、Excel・スライドなどの資料作成を実践します。質問の工夫で答えの質を高める練習や、グループでのアイデア出し・発表も行い、個人情報・著作権に配慮した安全な活用力を身につけます。就職活動や日常でも使える AI リテラシーを養います。
スポーツ健康科学実践探究 トレーニング測定手法 松尾 信之介 先生（木・2）	スポーツにおける測定評価の実践。基礎的な運動能力を測定、評価するための手法と分析方法、分析結果の生かし方を、実践を通じて学習する。計測のための手法やその分析方法、測定された結果を競技に生かすための考え方を、実際に測定実習を行いながら学習していく。

2026年度「OGU リベラルアーツプログラム」科目の概要（秋学期）

科目名・担当者（曜日・講時）	科目の概要
人文芸術 PBL 学習 芸術のミュゼオロジー 河上 繁樹 先生（水・2）	ミュゼオロジーは、博物館を研究する学問分野です。本講では、展示の現場を訪れ、館の個性をとらえたうえで、所蔵品を活用して日本をテーマにした仮想の展覧会を企画します。日本の芸術を体感し、美術館や博物館が果たす役割を学びます。
社会科学基礎探究 社会学 中山 麻耶 先生（木・2）	社会学の主要な理論から社会的事象を考える。新聞や雑誌記事等から実際の社会的事象をテーマとして取り上げ、社会的にどのように考えられるかを講義形式と発表、ディスカッションを織り交ぜて行う。
社会科学実践探究 心理学 伊田 行秀 先生（火・4）	進化心理学から日常を考える。人の心や行動について、進化心理学の考え方（遺伝子や「生存と繁殖」の視点から出発する）を含めた多面的な理解ができるようになることを目的としています。
社会科学 PBL 学習 フィールドワーク 杉山 伸一 先生（火・3）	大阪学院大学がある吹田市周辺地域を対象地域として、フィールドワークを取り入れたプロジェクト型のアクティブ・ラーニングを行う。
スポーツ健康科学基礎探究 スポーツ文化 奥田 直希 先生（木・1）	文化としてのスポーツという考え方を学び、世界中の多様なスポーツ文化を理解します。そして、新たなスポーツをつくり、広める活動を通して「つくる」というスポーツとの関わり方とその価値を探究します。
スポーツ健康科学 PBL 学習 スポーツ測定評価応用 山内 武 先生（木・2）	体力を測定し、評価を行い、その結果を実践の中で活かす。そしてデータ測定法、分析手法など専門的な能力の向上をめざす。基礎的な運動能力を測定、評価するための手法と分析方法、分析結果の生かし方を、実践を通じて学習する。計測するための手法やその分析方法、測定された結果を競技に活かすための考え方を、実際に測定実習を行いながら学習していく。